



事業者：インド・九州食文化交流協議会

計画概要

九州産農林水産物・食品のインド向け輸出拡大に向け、国内港湾及びインド側港湾の活用可能性や航空輸送・ドライ輸送・冷凍輸送等の輸送手法などについて、品質保持・輸送コスト・リードタイム等の観点から検証を行い、最適な輸送ルートや物流体制を構築し、持続可能かつ効率的な商物流モデルの形成を図る。

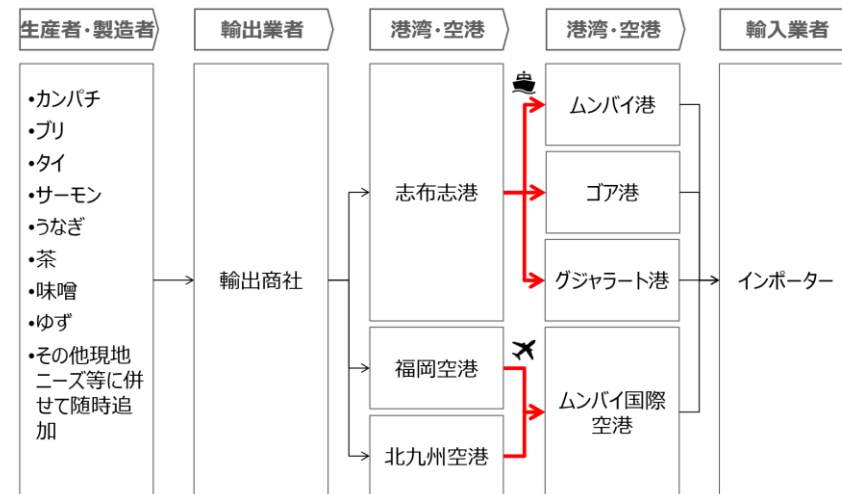
目標

同協議会メンバーによるインド向けの輸出額を、現状の238万円から、目標年度（2029年度）までに1,594万円（+560%）に増加させる。

食料システムへの寄与

インド向け輸出におけるコールドチェーンの構築により、高品質・高鮮度な日本産品のブランド力の向上による需要拡大及び販路拡大を図り、産地の生産基盤の維持・強化及び収益力の向上、また、地域経済の持続的発展等に寄与する。

計画のイメージ



国内港湾・空港から現地港湾・空港までの物流を、コスト・ロジスティクスクオリティの観点から比較検討

(2026年6月18日認定)